

単相 単相3線 3相の交流と直流のマルチ相出力に対応した高さ4U 6000VAのコンパクトAC/DC電源

ASRシリーズは、インバーター方式を採用した高さ4U、出力容量4500VA、6000VAのAC/DC電源です。単相、単相3線、3相交流と直流、さらに単相3チャンネルに対応したマルチ出力、豊富な測定機能、高調波解析モード、シーケンスやシミュレーションのテスト機能で様々な交流波形をサポート。さらに、交流+直流、内部+外部信号など組み合わせにより10種類の出力モードを備えています。インターフェースはUSB・LAN・RS-232Cを標準で搭載、オプションとしてGP-IBに対応しています。高機能ながら、7インチカラー液晶ディスプレイ搭載により、直観的で使いやすいコストパフォーマンスに優れた交流・直流安定化電源です。

マルチ相対応コンパクトAC/DC電源 ASR-4.5k/6k Series

- USB 標準装備
- RS-232C 標準装備
- LAN 標準装備
- アナログ制御 標準装備
- GP-IB オプション



- 1 phase / 3 channel
- Internal L&R
- Multi-In/Multi-Out
- Simulation
- Sequence Func.
- ARBWaveform
- EMT Sensing
- 2ch Monitor Out
- Master Slave

430mm(W)×176mm(H)×590mm(D) 突起等含まず 質量 約40kg

モデル名	希望小売価格 (税抜)	定格電力	出力相 相電圧 周波数	最大出力電流	インターフェース
ASR452-351		4500VA (単相3線:3000VA)	単相・単相3線・三相交流 1Hz※1 ~ 2000Hz 0 ~ 175V / 0 ~ 350V ※2 最大 700V ※3	45A / 22.5A ※2	USB, LAN, RS-232C GP-IB (Opt.)
ASR602-351		6000VA (単相3線:4000VA)	直流 0 ~ ±250V / 0 ~ ±500V ※2 最大 1000V ※3	60A / 30A ※2	

※1 AC+DCモードの場合、ACモードでは15Hz~
※2 100Vレンジ/200Vレンジ
※3 単相3線出力モード、相間の場合
入力電源定格 単相および3相3線 相間電圧(L-L)AC200V~240V、3相4線 相電圧(L-N)AC200V~240V 周波数 47Hz~63Hz
最大消費電力 6000VA(ASR452-351) 8000VA(ASR602-351)

付属品 Accessories

- ・入力端子カバー x 1式
- ・出力端子カバー x 1式
- ・入力端子ショートバー (4種) x 各1式
- ・ラックマウントアダプタ (EIA) x 1式
- ・USBケーブル (A-B 1.2m) x 1式

オプション Options

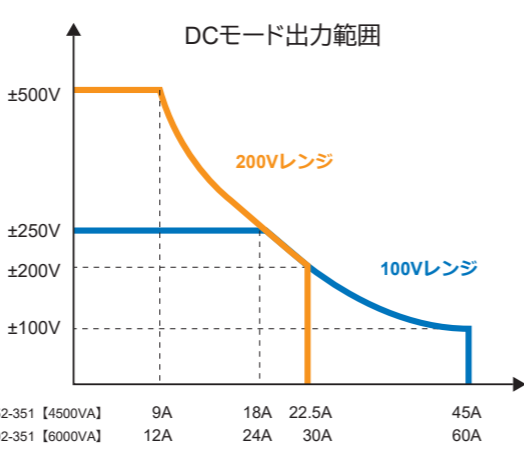
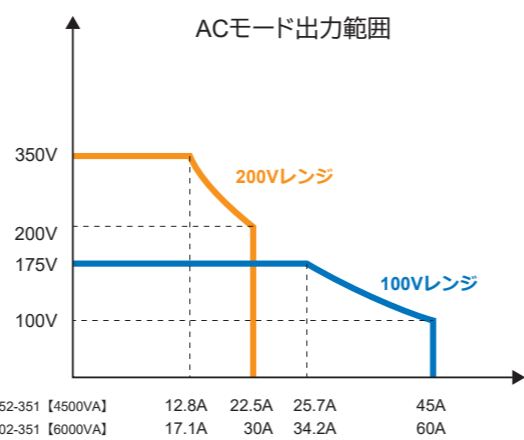
- GP-IBインターフェース ASR-003
- 並列接続通信インターフェース ASR-006

- ラックマウントアダプタ (JIS) GRA-451-J

- CW-0330R 三相3線ACケーブル (3m)
- GTL-232 RS-232Cクロスケーブル (2m)
- CB-2420P GP-IBケーブル (2m)

希望小売価格等詳細につきましては、弊社ホームページをご確認ください。

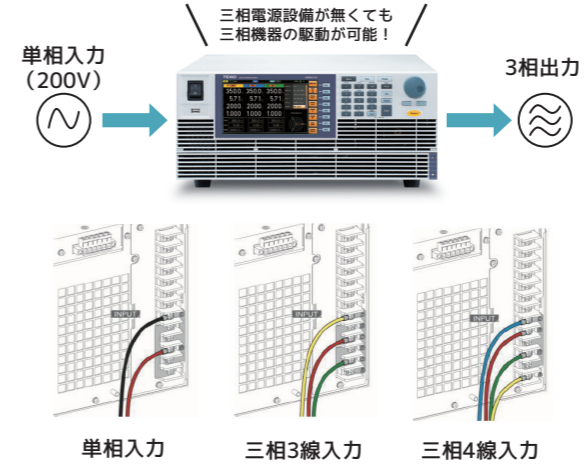
動作範囲 Operating Area



特長・機能 Features

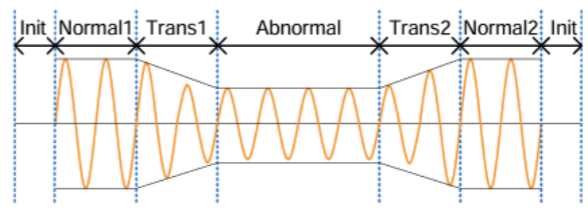
入力も出力もマルチ相対応

入力電源も単相、三相とも使用可能。単相2線から単相3線または三相への変換が可能です。三相が配電されていない実験室などでも使用できます。※単相200Vとなります。100Vは使用できません。



シミュレーションモード

このモードは、電圧・位相・周波数の変動など、電源の一般的な異常を6つのステップから生成することができます。一時的な異常のほか繰り返しの設定により周期的な異常として実行することができます。10個のシミュレーション設定をローカルメモリに保存できます。USBメモリにも保存可能です。

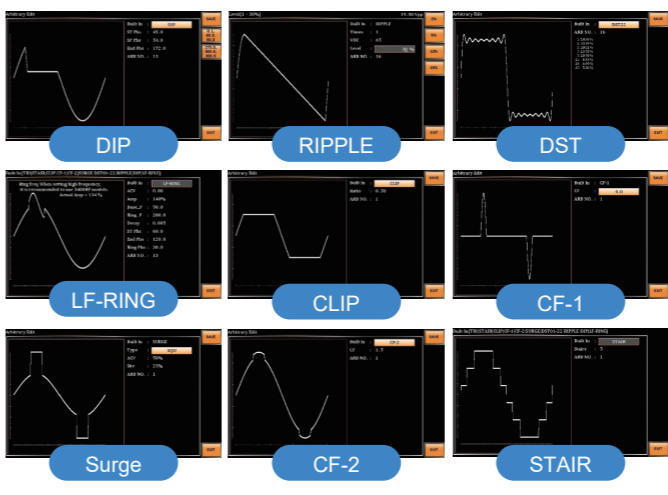


PCを使用せず、簡単に電源異常をシミュレーション！
※PCを使用しても操作可能。複雑な試験用にシーケンス機能も標準搭載しています。



PC不要の任意波形 (ARB) 編集機能

9つの波形タイプのパラメータを調整することで、数万を超えるAC電圧波形をシミュレートすることができます。パネルから目的の波形タイプを選択し、パラメータを設定した後でARB 1~16に登録、出力モードに戻ればARB波形を選択するだけで出力できます。(WEBサーバー機能により複雑な波形登録が可能です。)



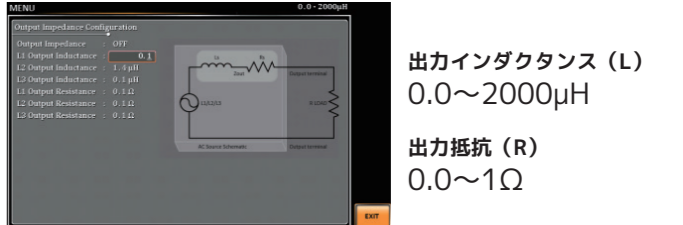
三相を独立した制御 (アンバランス出力・単相3ch) が可能

相電圧を一定にそろえたバランス出力の他に、各相を別々の電圧に設定することができるアンバランス出力、さらに3チャンネルの単相電源としても使用することができ、系統電圧不平衡時のシミュレーション試験や一般機器 (単相) の比較試験に利用することもできます。



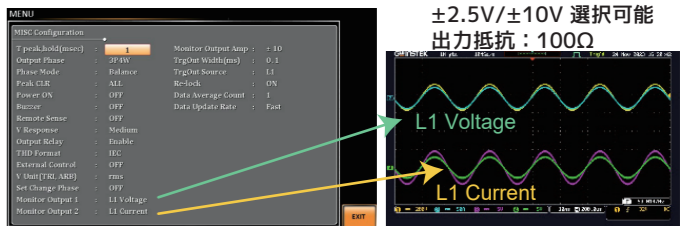
出力インピーダンスが設定可能

出力インダクタンスとレジスタンスを設定することができます。通常のACラインはインピーダンスを持っていますので実際の環境に近い試験を行うことができます。



2つのモニター出力を標準搭載

ASR452-351, ASR602-351はモニター出力を2つ搭載しており、任意の電圧、電流をオシロスコープ等で観測することができます。



Advanced web server control

LANネットワークを使用したWEBサーバー機能により、機器のシステム情報やネットワーク構成、測定値の監視や各種設定 (シミュレーションやシーケンスの編集も可能)、データロガー機能が簡単に使用することができます。



信頼性試験のモニターやログデータ保存、タブレット端末*をコントローラ代わりに使用が可能！
※WiFi等の無線LANを経由する場合、通信速度によっては操作のタイムラグが発生します。

